

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
1-04	公民	公共	1	S・A・P	2	必修

何を学ぶか

① 現代社会の諸問題に対する関心を高め、自らがどのように行動すべきか、考える力を養う。
 ② 国家と民主政治、憲法と国民生活、基本的人権、政治のしくみ、国際社会の動向など政治分野を中心に学ぶ。

学習目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり 解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を養う。

学習方法

使用教科書【第一学習社708 新公共】

① 教科書に沿いながら学習を進め、授業に関連する出来事に関心を持つ。
 ② テーマに沿ってグループ学習や討論を行う。

評価方法

知識・技能 35% : 定期考査、小テスト等により評価する。

思考・判断・表現 35% : 定期考査、小テスト等により評価する。

主体的に学習に取り組む態度 30% : 各種課題、振り返りシートへの取り組み状況により評価する。

授業予定

「▼」は定期考査の実施時期を示す

科目/領域	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬						
公共の扉	公共的な空間を作る私たち	■	■										■	■	■																						
	公共的な空間での基本原理	■			■	■	■							■	■	■																					
社会形成に参画する私たち	法的な主体となる私たち	■																																			
	政治的な主体となる私たち	■																																			
	経済的な主体となる私たち	■																																			
持続可能な社会形成	ケーススタディ①	■																																			
	ケーススタディ②	■																																			

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
1-05	数学	数学Ⅰ・A	1	S	3+2	必修

何を学ぶか

- ・数学Ⅰは、数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析を学びます。
- ・数学Aは、場合の数と確率、整数の性質、数学と人間の活動を学びます。
- ・高等学校数学の基礎的な定理や公式を証明し、それらの演習問題を解くことを通して、数学的な能力を身に付けていきます。

学習目標

- ・基礎的な知識の習得や問題を解く力の習熟を目指します。
- ・事象を数学的に考察し、処理する能力を養います。
- ・将来の進路希望を実現できるように、実践的な力を養います。

学習方法

使用教科書【数研出版714 新編 数学Ⅰ／数研出版714 新編 数学A】

- ・予習は、教科書や授業プリントの例題についての理解に努め、疑問点をまとめます。
- ・復習は、習った例題や練習問題をもう一度、自分で解きます。理解できないところは、担当の先生に質問してください。問題集の類題を解くと、さらに理解が深まります。
- ・毎日続けることが大切です。

評価方法

知識・技能 35% : 定期テスト、課題テスト、小テスト等による到達目標の到達度を中心に評価します。

思考・判断・表現 35% : 定期テスト、課題テスト、小テスト等による到達目標の到達度を中心に評価します。

主体的に学習に取り組む態度 30% : 予習の振り返りや課題学習、授業中の取り組み状況を中心に評価します。

授業予定

「▼」は定期考査の実施時期を示す

科目/領域	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
数学Ⅰ	数と式	■	■										■	■	■																						
	集合と命題	■																																			
	2次関数																																				
	図形と計量																																				
	データの分析																																				
数学A	場合の数と確率																																				
	図形の性質																																				
	数学と人間の活動																																				

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
1-06	数学	数学 I・A	1	A	3+2	必修

何を学ぶか

- ・数学 I は、数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析を学びます。
- ・数学 A は、場合の数と確率、整数の性質、数学と人間の活動を学びます。
- ・高等学校数学の基礎的な定理や公式を証明し、それらの演習問題を解くことを通して、数学的な能力を身に付けていきます。

学習目標

- ・基礎的な知識の習得や問題を解く力の習熟を目指します。
- ・事象を数学的に考察し、処理する能力を養います。
- ・将来の進路希望を実現できるように、実践的な力を養います。

学習方法

使用教科書【数研出版714 新編 数学 I / 数研出版714 新編 数学 A】

- ・予習は、教科書や授業プリントの例題についての理解に努め、疑問点をまとめます。
- ・復習は、習った例題や練習問題をもう一度、自分で解きます。理解できないところは担当者に質問してください。
- ・問題集の類題および副教材の例題を解くと、さらに理解が深まり、応用力がつかます。
- ・毎日続けることが大切です。
- ・進学に向けた取り組み(講習等)に積極的に参加してもらうことで実践力を高めます。

評価方法

知識・技能 35% : 定期テスト、課題テスト、小テスト等による到達目標の到達度を中心に評価します。

思考・判断・表現 35% : 定期テスト、課題テスト、小テスト等による到達目標の到達度を中心に評価します。

主体的に学習に取り組む態度 30% : 予習の振り返りや課題学習、授業中の取り組み状況を中心に評価します。

授業予定

「▼」は定期考査の実施時期を示す

科目/領域	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬						
数学 I	数と式	■	■										■	■	■																						
	集合と命題	■																																			
	2次関数																																				
	図形と計量																																				
	データの分析																																				
数学 A	場合の数と確率																																				
	図形の性質																																				
	数学と人間の活動																																				

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
1-07	数学	数学Ⅰ・A	1	P	3+2	必修

何を学ぶか

- ・数学Ⅰは、数と式、集合と命題、2次関数、図形と計量、データの分析を学びます。
- ・数学Aは、場合の数と確率、整数の性質、数学と人間の活動を学びます。
- ・高等学校数学の基礎的な定理や公式を証明し、それらの演習問題を解くことを通して、数学的な能力を身に付けていきます。

学習目標

- ・基礎的な知識の習得や問題を解く力の習熟を目指します。
- ・事象を数学的に考察し、処理する能力を養います。
- ・将来の進路希望を実現できるように、実践的な力を養います。

学習方法

使用教科書【数研出版714 新編 数学Ⅰ／数研出版714 新編 数学A】

- ・予習は、教科書や授業プリントの例題についての理解に努め、疑問点をまとめます。
- ・復習は、習った例題や練習問題をもう一度、自分で解きます。理解できないところは、担当の先生に質問してください。問題集の類題を解くと、さらに理解が深まります。
- ・毎日続けることが大切です。

評価方法

知識・技能 35% : 定期テスト、課題テスト、小テスト等による到達目標の到達度を中心に評価します。

思考・判断・表現 35% : 定期テスト、課題テスト、小テスト等による到達目標の到達度を中心に評価します。

主体的に学習に取り組む態度 30% : 予習の振り返りや課題学習、授業中の取り組み状況を中心に評価します。

授業予定

「▼」は定期考査の実施時期を示す

科目/領域	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬							
数学Ⅰ	数と式	■	■																																			
	集合と命題	■																																				
	2次関数																																					
	図形と計量																																					
	データの分析																																					
数学A	場合の数と確率																																					
	図形の性質																																					
	数学と人間の活動																																					

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
1-08	理科	化学基礎	1	S・A・P	2	必修

何を学ぶか

- ・物質の構造・性質や反応などから自然科学の基本的な知識・概念や原理・法則を学ぶ。
- ・学んだ知識などを生かして物質の利用法や社会での活用の意味などを学ぶ。

学習目標

- ・化学的な事物・現象について、観察・実験を行う。
- ・自然に対する関心や探究心を高める。
- ・化学的に探究する態度や能力を深める。
- ・基本的な概念や原理・法則を理解し、自然を化学的にとらえられるようにする。
- ・エネルギーと物質の成り立ちについての理解を深める。
- ・科学技術や自然と人間の関わりについての理解を深める。

学習方法

使用教科書【数研出版710 新編 化学基礎】

- ・教室授業とともに、実験を通して物質の性質や化学変化の理解を深める。
- ・身の回りの自然に興味・関心を持ちながら学習する。
- ・問題演習を通じて計算法・理論を身につける。
- ・定期考査の他、適宜小テストを実施して理解度を確認する。

評価方法

知識・技能 40 % : 【定期考査、小テスト】

思考・判断・表現 30 % : 【定期考査、実験レポート】

主体的に学習に取り組む態度 30 % : 【提出物、実験レポート】

授業予定

「▼」は定期考査の実施時期を示す

科目/領域	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
化学基礎	物質の構成	■	■										■	■												■	■										
	物質の構成粒子	■			■	■	■						■	■																							
	粒子の結合	■							■	■	■	■																									
	物質質量と化学反応式	■																		■	■	■	■	■													
	酸と塩基の反応	■																																			
	酸化還元反応	■																																			

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
1-10	保健体育	保健	1	S・A・P	1	必修

何を学ぶか

・現代社会においては国民すべてにとって心身の健康増進が大きな課題となってきた。「保健」は、健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を生徒が体系的に学習することにより、健康問題を認識し、これを科学的に思考・判断し、適切に対処できるようにすることをねらいとしており、生涯を通じて心身の健康増進を図るために実践する力を養う。

学習目標

- ・人間の一生のなかで、高校生の時期は体や心の発達という点から大変重要な意味を持っている。保健の授業では、個人としてだけでなく、社会の一員としてSDGsに絡めた健康の問題を考え、健康的な生活習慣を身につけることを目指す。
- ・生活環境を守るための知識と能力を高め、生涯を通じた健康づくりの基礎の確立を目指す。
- ・生活行動と健康との関わりや環境問題について自ら調査・研究し学習することにより、今後の生活において、健康増進に役立てられるようにする。

学習方法

使用教科書【大修館701 現代の高等保健体育】

- ・日々の授業において単元の内容を理解するとともに、健康と安全に留意した日常生活が送れる態度を身につける。
- ・夏季休業中に、各自のテーマの分野から自分が興味関心のある事柄について深く研究を行い、レポートを作成する。
- ・2学期授業で、3分間でテーマについて発表ができるように内容をまとめ、重要な項目については資料を作成する。
- ・毎時間の発表は個人ノートに内容をまとめる。
- ・心肺蘇生法実習を3学期に行う。

評価方法

知識・技能 40 % : 1学期末考査・学年末考査の定期考査、2学期の課題レポートおよび記録用紙。

思考・判断・表現 30 % : 2学期に行う3分間スピーチ・1学期末考査・学年末考査の定期考査。

主体的に学習に取り組む態度 30 % : 自己評価用紙、各課題の取り組み状況により評価する。

授業予定

「▼」は定期考査の実施時期を示す

科目/領域	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬				
保健	健康の考え方	■	■	■	■							▲	▲	▲																								
	健康の保持増進と病気の予防					■	■	■	■																													
	3分間スピーチ												■	▲	▲	▲	■	■	■	■	■	■	■	■														
	感染症・性感染症																										■	■										
	精神の健康																																					
	応急手当・心肺蘇生																																					

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
1-12	保健体育	体育	1	P	3	必修

何を学ぶか

- ① 自学・自律・自鍛の久御山高校の教育方針を踏まえて、生徒自らの自主性・主体性を培う。
- ② 生涯スポーツの観点から、計画的に運動を実践できる能力を養う。
- ③ 科学的根拠に基づいた運動実践により自らの健康の増進と体力の向上ならびに精神面の強化を図る。

学習目標

・各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにする。
 ・体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

学習方法

使用教科書【大修館701 現代の高等保健体育】／使用副読本【ステップアップ高校スポーツ】

・1学期始めに、オリエンテーションをし、集団行動・スポーツテストを行う。
 ・各学期とも剣道を1時間行い、2時間は別の2種目を行う。各種目とも基本的な体力や技能の習得を目指す。

評価方法

知識・技能 40 % : 基礎的な個人技能の実技テスト・自己記録用紙・自己評価用紙などを評価資料とする。

思考・判断・表現 30 % : ゲームや記録会などの応用技能、自己記録用紙・自己評価用紙などを評価資料とする。

主体的に学習に取り組む態度 30 % : 自己評価用紙、各課題の取り組み状況により評価する。

授業予定

「▼」は定期考査の実施時期を示す

科目/領域	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
体育	集団行動・スポーツテスト		■	■									■	■	■											■	■	■							■	■	■
	剣道				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	体ほぐし・体育理論				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	ウェイトトレーニング				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
	陸上競技																																				
	男:バスケットボール																																				
	女:バスケットボール																																				
	長距離走																																				

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
1-13	保健体育	スポーツ I	1	P	3	必修

何を学ぶか

① 自学・自律・自鍛の久御山高校の教育方針を踏まえて、生徒自らの自主性・主体性を培う。
 ② 生涯スポーツの観点から、計画的に運動を実践できる能力を養う。
 ③ 科学的根拠に基づいた運動実践により自らの健康の増進と体力の向上ならびに精神面の強化を図る。

学習目標

・各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高め運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるようにするとともに、体の調子を整え、体力の向上を図り、公正、協力、責任などの態度を育て、生涯を通じて継続的に運動ができる資質や能力を育てる。

学習方法

使用教科書【大修館701 現代の高等保健体育】／使用副読本【ステップアップ高校スポーツ】

・スポーツ総合専攻1、2、3年生を専攻種目ごとの縦割り集団として、実戦的でレベルの高い専攻種目の授業を行う。

評価方法

知識・技能 40 % : 基礎的な個人技能の実技テスト・自己記録用紙・自己評価用紙などを評価資料とする。

思考・判断・表現 30 % : ゲームや記録会などの応用技能、自己記録用紙・自己評価用紙などを評価資料とする。

主体的に学習に取り組む態度 30 % : 自己評価用紙、各課題の取り組み状況により評価する。

授業予定

「▼」は定期考査の実施時期を示す

科目/領域	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下			
スポーツ I	剣道(男・女)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	バスケットボール(女子)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	バレーボール(女子)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	陸上競技(男・女)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	硬式野球(男子)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	サッカー(男子)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	ソフトテニス(女子)	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
1-16	芸術	書道 I	1	S・A・P	2	選択必修

何を学ぶか

・漢字(楷書・行書)・仮名・漢字仮名交じりの書と裏打ちの方法を学びます。

学習目標

・古典の鑑賞・臨書を通して基本的な技法を習得し、美の多様性を理解します。

学習方法

使用教科書【教育出版704 書道 I】

- ・古典といわれる名品を繰り返し習い、書の美の原理や基礎の技法を身につけます。
- ・半紙練習にて基本書法を学んだ後、漢字は画仙紙に、仮名は料紙に清書し、多様な作品形式に対応する力をつけます。
- ・漢字仮名交じりの書の制作では、これまでに学習した技法や感覚を生かして表現の工夫をします。

評価方法

○知識・技能 35% :

- ・書の表現の方法や、形式・表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。
- ・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身につけ、表している。

○思考・判断・表現 35% :

- ・書のおさや美しさを感じ取り、意図に基づいて構想し、個性豊かに表現を工夫している。
- ・書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。

○主体的に学習に取り組む態度 30% :

- ・書の伝統と文化に豊かに関わり、主体的に表現や鑑賞の創作的活動に取り組もうとしている。
- ・書についての知識や技能を習得するために粘り強く取り組んでいる。

授業予定

「▼」は定期考査の実施時期を示す

科目/領域	単元	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
書道 I	楷書	■			■			■						■												■											
	行書													■			■			■																	
	硬筆										■			■			■																				
	裏打ち																																				
	仮名																																				
	漢字かな交じり																																				

番号	教科名	科目名	学年	コース	単位数	備考
1-19	情報	情報 I	1	S・A・P	2	必修

何を学ぶか

1. 情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて学ぶ。
2. 事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用できるようにする。
3. 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画するできる知識をつける。

学習目標

1. 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
2. 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
3. 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

学習方法

- 使用教科書【実教出版705 最新情報 I】
1. 授業は、実習が伴うため定期テスト以外はコンピュータ室で行う。
 2. タブレットは、自宅での振り返りシートを入力する際に使用するが、授業のほとんどはPCで行う。そのため、ローマ字入力ができるように1学期当初はタイピングができるようにする。
 3. 教科書は、プリントとの併用で使用する。内容に関しては、全教科にまたがるような内容が多いため、自分で考える、イメージを膨らませるなど答えを求めるのではなくその過程を自分なりにアレンジする力が求められる。
 4. プログラミングにおいては、ExcelVBAを学ぶ。表計算を学ぶ過程での内容なので簡単でわかりやすい。
 5. 実習は、1人で取り組む場合がほとんどだが、もともと個人差がある教科なので最低限の努力を惜しまなければ問題は無い。

評価方法

知識・技能 35 % : 情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けている。

思考・判断・表現 35 % : 問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。

主体的に学習に取り組む態度 30 % : ルーブリックによる自己評価 出席率による評価

授業予定

「▼」は定期考査の実施時期を示す

科目/領域	単元	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
情報 I	コンピュータの使用方法	■	■	■																					
	情報と社会	■	■	■																					
	システムとデジタル化			■	■	■					■	■	■	■											
	Excel			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■			
	問題解決とその方法										■	■	■	■											
	アルゴリズムとプログラミング																■	■	■	■					
	プレゼンテーション																		■	■	■	■	■	■	■

